



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 テイカ株式会社
 コード番号 4027 URL <http://www.tayca.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 名木田 正男
 (氏名) 山崎 博史
 配当支払開始予定日

TEL 06-6208-6404
 平成28年12月6日

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	18,274	△0.2	2,767	22.6	2,723	13.2	1,897	13.2
28年3月期第2四半期	18,302	1.7	2,256	16.4	2,405	20.0	1,676	29.3

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 2,446百万円 (480.3%) 28年3月期第2四半期 421百万円 (△76.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	40.18	—
28年3月期第2四半期	35.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	50,655	36,553	71.8	770.02
28年3月期	48,198	34,344	70.9	723.07

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 36,370百万円 28年3月期 34,154百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	3.8	5,000	5.7	5,000	2.6	3,400	5.7	71.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	51,428,828 株	28年3月期	51,428,828 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	4,195,634 株	28年3月期	4,192,914 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	47,234,653 株	28年3月期2Q	47,607,114 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用や所得環境の改善が続いているものの、個人消費は弱含みで推移し、また海外経済の減速懸念や英国のEU離脱問題などの影響により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは国内外での新規市場の開拓や既存顧客との取引拡大など積極的な販売活動を推進するとともに、製造原価の低減、経営全般にわたる効率化を推進し、収益の向上に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、タイの連結子会社の売上げは為替の影響を受け円建てで前期を下回りましたが、化粧品向けの表面処理製品等の機能性製品の販売が好調に推移しましたことなどにより、売上高は182億7千4百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は27億6千7百万円（前年同期比22.6%増）、経常利益は27億2千3百万円（前年同期比13.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億9千7百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。（添付資料の9ページ「セグメント情報」をご参照ください）

酸化チタン関連事業

汎用用途の酸化チタンは、国内の塗料・インキ向けの販売が堅調に推移し、海外市況の不安定な動きの影響を受けましたものの、販売数量、売上高ともに前期を上回りました。

機能性用途の微粒子酸化チタンは、化粧品向けが堅調に推移し、販売数量は前期を上回りましたが、売上高は円高の影響を受け前期並となりました。表面処理製品は化粧品向けのインバウンド需要などにより好調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は101億6千6百万円（前期比3.6%増）となりました。

その他事業

界面活性剤は主用途の洗剤等日用品向けが概ね順調に推移し、販売数量は前期を上回りました。また、タイの連結子会社の販売数量は前期を上回りましたが、為替の影響を受け円建ての売上高は前期を下回りました。

硫酸は販売数量、売上高ともに前期並を維持しました。

無公害防錆顔料の販売数量は前期並を維持しましたが、売上高は円高の影響を受け前期を下回りました。

導電性高分子薬剤はコンデンサ向けが好調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を上回りました。

倉庫業は荷扱量が増加しましたことにより、売上高は前期を上回りました。

エレクトロ・セラミックス製品は医療用向けの販売が好調に推移し、売上高は前期を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は81億7百万円（前期比4.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産総額は、506億5千5百万円（前連結会計年度末比24億5千7百万円増加）となりました。これは主に、現金及び預金が24億2百万円、投資有価証券が13億2千6百万円、それぞれ増加し、原材料及び貯蔵品が6億2千6百万円、受取手形及び売掛金2億2千2百万円、それぞれ減少したことによります。

負債合計は、141億1百万円（前連結会計年度末比2億4千8百万円増加）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億8千2百万円増加したことによります。

純資産合計は、365億5千3百万円（前連結会計年度末比22億9百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金が16億6千1百万円、その他有価証券評価差額金が9億7百万円、それぞれ増加し、為替換算調整額が3億4千2百万円減少したことによります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローが39億6千8百万円の収入（前年同期比13億4千3百万円収入額の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益27億6百万円、減価償却費9億3千8百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、9億9千5百万円の支出（前年同期比4億5千万円支出額の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出9億6千7百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億5千9百万円の支出（前年同期比7千6百万円支出額の減少）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出3億3千7百万円、配当金の支払額2億3千5百万円によるものであります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末より24億2百万円増加し、108億6千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,540	10,943
受取手形及び売掛金	10,746	10,523
商品及び製品	4,703	4,798
仕掛品	592	423
原材料及び貯蔵品	2,342	1,716
その他	823	857
流動資産合計	27,749	29,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,064	4,652
機械装置及び運搬具（純額）	4,425	4,646
その他（純額）	3,407	2,260
有形固定資産合計	11,896	11,558
無形固定資産	52	47
投資その他の資産		
投資有価証券	7,665	8,991
その他	857	819
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	8,499	9,787
固定資産合計	20,449	21,393
資産合計	48,198	50,655

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,479	3,761
短期借入金	909	743
未払法人税等	907	852
賞与引当金	369	365
その他	2,490	2,544
流動負債合計	8,156	8,267
固定負債		
長期借入金	1,572	1,291
環境対策引当金	13	13
退職給付に係る負債	3,211	3,220
その他	899	1,308
固定負債合計	5,696	5,834
負債合計	13,853	14,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	15,654	17,316
自己株式	△1,627	△1,628
株主資本合計	30,649	32,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,549	4,457
繰延ヘッジ損益	—	△26
為替換算調整勘定	240	△102
退職給付に係る調整累計額	△285	△268
その他の包括利益累計額合計	3,505	4,060
非支配株主持分	189	183
純資産合計	34,344	36,553
負債純資産合計	48,198	50,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	18,302	18,274
売上原価	13,495	12,828
売上総利益	4,806	5,445
販売費及び一般管理費	2,550	2,678
営業利益	2,256	2,767
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	75	77
環境対策引当金戻入益	66	—
その他	44	34
営業外収益合計	188	112
営業外費用		
支払利息	24	16
為替差損	3	134
その他	10	5
営業外費用合計	39	155
経常利益	2,405	2,723
特別利益		
投資有価証券売却益	—	22
特別利益合計	—	22
特別損失		
固定資産除却損	27	40
特別損失合計	27	40
税金等調整前四半期純利益	2,378	2,706
法人税、住民税及び事業税	686	791
法人税等調整額	△2	△0
法人税等合計	683	790
四半期純利益	1,695	1,915
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,676	1,897

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,695	1,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,290	907
繰延ヘッジ損益	—	△26
為替換算調整勘定	5	△366
退職給付に係る調整額	11	16
その他の包括利益合計	△1,273	531
四半期包括利益	421	2,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	403	2,453
非支配株主に係る四半期包括利益	17	△6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,378	2,706
減価償却費	868	938
受取利息及び受取配当金	△76	△78
支払利息	24	16
売上債権の増減額 (△は増加)	285	130
たな卸資産の増減額 (△は増加)	467	665
仕入債務の増減額 (△は減少)	△214	359
その他	△294	2
小計	3,438	4,739
利息及び配当金の受取額	76	78
利息の支払額	△24	△16
法人税等の支払額	△866	△833
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,624	3,968
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,395	△967
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	—	30
その他	△43	△51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,445	△995
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△230	△73
長期借入れによる収入	40	—
長期借入金の返済による支出	△346	△337
自己株式の取得による支出	△2	△1
配当金の支払額	△189	△235
非支配株主への配当金の支払額	△6	—
その他	—	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△736	△659
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	89
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	441	2,402
現金及び現金同等物の期首残高	7,334	8,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,776	10,864

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,816	8,485	18,302	—	18,302
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	337	337	(337)	—
計	9,816	8,822	18,639	(337)	18,302
セグメント利益	1,338	923	2,261	(5)	2,256

(注) 1. セグメント利益の調整額△5百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,166	8,107	18,274	—	18,274
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	260	260	(260)	—
計	10,166	8,367	18,534	(260)	18,274
セグメント利益	1,687	1,076	2,763	3	2,767

(注) 1. セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。